

名護市教育委員会議事録

会議名	第 362 回名護市教育委員会臨時会		
開催日時	令和元年 9 月 25 日（水） 開会 15：30 閉会 16：15		
開催場所	名護市役所 庁議室		
出席者	教育長 委員（教育長職務代理者） 委員 委員 委員	岸本 敏 孝 照 屋 厚 宮 城 博 大城千代子 名嘉チエミ	教育次長 (教)総務課長 (教)総務課総務係長 ほか担当職員
欠席者			

1 議案

議案第 30 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書（平成 30 年度）について

2 内容

- ・議案第 30 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書（平成 30 年度）について

((教)総務課総務係長より説明)

委員：内部評価と外部評価の差が大きくある点について評価は適正か。

総務係長：外部評価については、懇話会会員の皆様の限られた情報の中での評価となっており、逆に内部評価については教育委員の皆様がより内容について深くご存じなので、評価の差が生じることとなったものとする。

委員：評価シートの中で、施策名や第 2 次名護市教育振興基本計画での位置づけなどと結び付けて評価するのは良いが、主な取組が毎年度同じものとなっており、単年度ごとの具体的な取り組みを載せられないので反省点の改善につながらない部分もあるのでは。

総務係長：次年度はもう少し評価シートの様式を検討したい。

教育長：教育振興基本計画に則った評価というのを前提に置きつつ、具体的取り組みや評価については単年度で行えるような評価シートの改善は必要かもしれない。

委員：昨年度の評価で改善が求められているにもかかわらず、今年度も同じ評価で改善が求められている項目がある。第 2 次名護市教育振興基本計画は 5 年の期間があり、その期間の中で現状は常に変わっていくのだから、策定当時の取組などにとらわれず、改善していかないと、時間をかけて点検・評価をする意味がない。活かして行ってほしい。

総務係長：関係課等にはフィードバックは行っているが、より活用し改善していけるように、意識付けを行っていきたい。

教育長：内部での項目の検討を行ったうえで、担当課等への投げかけを行う必要がある。

委員：地域公民館の充実という具体的施策の中で、主な取組内容として公民館長や書記を対象にした研修会を年1回実施しているが、地域が希薄化している中で館長や書記を対象とした研修ではなくて、地域の関係団体や社会教育団体との連携を深めて地域の活動を支えあっていくような関係の構築が必要ではないか。

委員：住居があっても、その地域の一員という意識がなく、地域での活動に参加しようとしなない。

委員：豊年祭などをとってみても、伝統文化を守るという点から、地域外からの参加はあまり受け付けず、結果として人が集まらずに演目を縮小し、豊年祭自体も衰退していく。それが地域の衰退につながっていくのではと憂慮される。それを防ぐためには、今の時代に合った行事の計画や参加の仕方なども考慮していかないといけない。

教育長：社会教育の担当関係とも調整し、それぞれの方向性を確認しながらどう評価を活かしていくか、今後も検討していきたい。

(採決の結果、原案のとおり承認)